

「地域産業資源発掘調査」 (千葉市中堅製造業調査) 報告書概要

〔千葉市産業振興財団〕

現状動向

〔業況・受注状況〕

売上合計は、現状・今後の見通しともに、良好な企業が多い。

受注状況に関しては、受注量が増加した企業が多かったが、業種によっては減少もみられる。

一方受注単価をみると、客先からの値下げ要求・価格競争により下降した企業が多くなっている。

〔新製品開発や新事業展開の方向〕

多くの企業が新製品や新技術の開発に意欲を示している。

新規の事業分野への進出については、ほぼ半数の企業が意向をもっている。

自社製品の高品質性を強みと認識している企業が多いが、一方でレベルの高度化を常に行わないと生き残れないと感じている。

〔異業種、大学・公的研究機関等の連携の方向性〕

産学連携、異業種連携ともに3割の企業が連携の意欲を示している。

〔人材育成と確保の方向性〕

現在人材が不足している企業は半数を超え、技術開発、社内教育、営業活動などにも影響を及ぼしている。

問題点

・価格競争に関する情報不足

・営業人材不足

・資金の調達

・人材の確保

・きっかけがない

・情報不足

・若年人材の教育

・熟練技術者の不足

財団支援の可能性

- ・販路開拓事業による、発注先と受注先のマッチング
- ・開発製品の市場への周知
- ・関連業界の情報提供

- ・ビジネス交流会事業による人材の発掘・マッチング
- ・融資制度利用による資金調達

- ・ビジネス交流会事業によるマッチング
- ・各種情報提供事業

- ・ビジネススクール事業による人材育成
- ・専門家派遣事業による技術支援

目的： 千葉市中堅製造業の現況や技術開発動向、支援ニーズ等を調査し、製造業が目指している様々な方向性を探り、今後の支援の基礎データとすることにより、支援の効果を高め、産業振興につなげることを目的とする。

時期： 平成 18 年 2 月 16 日～3 月 10 日

対象： 1) 千葉市内に本社がある中堅製造業 113 件
2) 本社は千葉市以外であるが千葉市内に工場等がある中堅製造業 35 件
以上の計 148 件

回収率： 70.9%

方法： 調査員による訪問面接ヒアリング調査。
本調査は東京商工リサーチに委託して実施した。